

特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

発行：NPO法人「地域福祉を考える会」

発行人：理事長 志村 忠臣

事務局：〒259-1142

伊勢原市田中 300 番地の 1-202

Tel・Fax 0463-95-6665

メール rtbyw740@ybb.ne.jp

# ニュースレター

## 平成 22 年度 総会 & 研修会のお知らせ

日時： 平成 22 年 5 月 29 日 (土)

場所： シティプラザ 1 階会議室

内容： 第 1 部 研修会 13:00~14:15

題名 『高次脳機能障害者の生活実態調査について』

講師 NPO法人日本脳外傷友の会事務局・当会理事 本田 一夫 氏

第 2 部 総会 14:30~15:30

議案第 1 号 平成 21 年度事業報告及び収支報告について

議案第 2 号 平成 22 年度役員改選(案)について

議案第 3 号 平成 22 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

議案第 4 号 その他

第 3 部 懇親会

※ 出欠席の連絡は 5 月 20 日(木)までに同封の返信ハガキにてお願いします。

### 平成 22 年度会費徴収について

運営会員：年会費 3,000 円

普通会員：年会費 1 口 1,200 円を 1 口(出来れば 2 口)以上

賛助会員：年会費 1 口 5,000 円を 1 口以上

振込の場合 横浜銀行伊勢原支店 普通 1548781 地域福祉を考える会

会費は当日お持ち頂くか、銀行振込又は各部会に納めて下さい。

### 新年度児童コミュニティクラブ指導員紹介



22 年度が始まりました

各児コミには新 1 年生が仲間入りして元気な「ただいまあ〜」の声が聞こえてきています。小学校の生活・新しい学年での生活に慣れて児コミで過ごす時間が安全で安心できる場になるように心がけ、お子様の健やかな成長をご家族の協力も頂きながら指導員と共に活動して行きたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。

NPO 法人  
児童コミュニティクラブ代表 神山 幸子

#### 伊勢原第 1

今年度は合計56人でスタートです。1年生は、まるで今までコミに居たかのようにすんなりと馴染んでいます。学年を超えて男女仲良く遊ぶ姿が見られます。この1年は、コミの元気な子ども達と共に日々のプログラムがマンネリ化しない様に季節感のある遊び・作品・行事、また校外に出る行事も例年より少し積極的に取り組み一緒に体験しようと思っています。指導員同志の協力のもと、笑顔あふれる伊勢原コミになりますように！ (安武)

#### 伊勢原第 2

桜の花が咲きコミの新しい年が始まりました。伊勢原第2児コミは児童数が少なく一人ひとりのお子さまと密に接することができます。さあ、今年は何んな楽しいことができるでしょう！指導員一同心を弾ませています。(渡辺)



木 松 樋 中 安 菅  
村 下 口 尾 武 保  
代 表



中山



蔵 田 高 渡 村 林  
本 原 橋 辺 山  
代 表

#### 比々多第 1

花冷えの3月が終わり、桜の花が入学式を待っていたかのような新年度が始まりました。子ども達が安心できる自分の居場所を見つけられるように、指導員一同お手伝いできればと思います。(岡)

#### 比々多第 2

新年度のスタートです。“心に残る1年”を目指し明るく楽しい日々を送れるように、皆の気持ちをひとつにして頑張りたいと思います。(越地)



高 大 岡 坂 青  
橋 久 代 東 木  
河 野



大佐古



河野



三 河 越 与 佐 三  
島 合 地 那 藤 輪  
代 表



牧嶋



小澤

# 地域デビュー支援講座

## 3月2日市民文化会館で380人参加

本法人と福祉を育てる会、有志個人で構成する「地域デビュー支援講座実行委員会」が主催し、会場満席の380人が参加しました。この講座は、大量退職時代を迎え、会社人間として「地域」に無縁であった退職者を主な対象として、退職後の生き甲斐をどのように見つけていくかを狙いに催したものです。



第1部は、退職後のお手本のような奥田憲弘先生による「口笛演奏会」中学校の教師を勤めてこられた先生の軽快な話術と、世界口笛コンクール「シニアの部優勝」の経歴を持つ素晴らしい口笛と懐かしい音楽に酔いしれました。また、古川恵子先生のピアノ伴奏・歌唱指導も素晴らしく、会場は一体感に包まれました。



第2部は、3年来の念願であった、さわやか福祉財団理事長の堀田力先生をお迎えし、『自分の発見～定年後のいきがい』と題した講演。定年後には「先ず、今までに培った経験で活かせることをさがすこと。二番目に、青春時代に将来やりたいと思った事を思い出して再度挑戦すること、この二つから必ず道は開ける。」との言葉が印象的でした。終始穏やかに、さわやか福祉財団での経験や全国各地での交流の経験からにじみ出るお話に1時間半があつという間でした。



# あなたも後見人になろう『成年後見制度研修』レポート



「ボランティア」の気楽さって、心のどこかにありませんか？私はずっと、出来る時に出来る所で、出来る事をやればいい、やめたくったら他の

人にバトンタッチをすればいいだけのこと、と軽く思っていました。そんな気持ちの延長のまま、入ってきた成年後見部会は『脱皮』の大きなチャンスになりました。

なにしろ、裁判所に選任されて、人ひとりの権利や財産をその人の生涯に涉って守るという、考えてみれば重たい仕事。しかもこれも裁判所の決定で報酬まで付与される。一個人ではなかなか負えない内容ではあります。『地域福祉を考える会』という法人に所属してこそ、出来る。

『みんなて〇〇〇〇ば怖くないの法則』は『みんな』の質を高め、量を増やす事が絶対条件。そこで企てた今回の研修でした。

3月20日土曜日の午後、青少年センターに行政書士の塚本富男先生を講師にお迎えすることが出来ました。塚本先生はNPO法人『神奈川成年後見サポートセンター小田原西支部』の支部長として、また伊勢原では社協の成年後見制度の無料相談会の担当としてご活躍中。実践家の視点から成年後見制度の仕組みを手続の流れを軸に具体的に教えて下さいました。参加者の質問も活発で、充実した研修になりました。また、やります。

『みんな』になれば私でも、だれでもできる。だからあなたも後見人になろう！（成年後見部会 佐藤 哲）



## 成年後見部会紹介

2000年に介護保険と共にスタートした成年後見制度は、申し立て件数は大きく伸びているものの手続きの煩雑さや費用面から利用しにくい状況だと言われています。私たち成年後見部会はオンブズパーソン等の権利擁護活動が出発点でボランティア活動を行なってきましたが、多岐に亘る要望に応えるため2006年当部会を発足させました。活動としては、法人後見を小田原家庭裁判所の指導・管理の下、被後見人の方々がより幸せな暮らしが出来るよう本人・施設・家裁等と話し合いを重ねながら財産管理や身上監護を行なっています。

## 理事役員会 会議のお知らせ

日時：平成22年5月14日(金) 午後6時30分～  
会場：伊勢原市民文化会館練習室 1



## 編集後記

新年度が始まりました。今年度も読みやすい紙面を心がけ、発行してまいりますのでよろしくお願いいたします。

秋山